

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	市民協働のまちづくり推進事業		担当部署	市民環境部 市民協働推進課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市自治基本条例 市民との協働のまちづくり行政行動 指針	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業 期間	開始	平成 ▼ 23 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期
(小項目)		市民参画・市民協働			
施策	1	市民参画・市民協働の推進			
基本事業	3	協働によるまちづくりの推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業対象	誰(何)を対象にしているか	市民等、行政														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	自治基本条例に掲げる市民等が主役のまちづくりの実現に向けて、市民等と市が、適切な役割分担のもと、互いに補い合いながら協働事業に取り組む。														
事業計画	29年度に何を計画していたか	①市民協働推進本部会議等を開催することにより、協働のまちづくりが拡充していくための環境整備に努める。②「WeLoveなんとまちづくり活動応援補助金」については、引き続き「行政提案型部門」を設定、市制施行70周年の年でもあることから「市制施行70周年を市民協働で祝おう！」をテーマに設定し、主体的にまちづくり活動に取り組む団体の活動促進と経済的自立的に向けた支援を行う。③市公式ウェブサイトや地域デビュー手引書を活用し、シニア世代の地域デビューの促進を図る。④市民の地域活動を支援するため、要望の多かった軽トラック(公用車)・マイク・スピーカーを貸し出し用として購入する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>市民との協働事業数</td> <td>140</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>事業</td> </tr> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	市民との協働事業数	140	150	150	150	150	事業
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
市民との協働事業数	140	150	150	150	150	事業										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①市民協働推進本部会議及びワーキンググループを開催し、職場内研修の実施内容等について検討した。②「WeLoveなんとまちづくり活動応援補助金」について、平成28年度に引き続き行政提案型部門を創設した。③市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくり」コーナーを通じて、まちづくりに関する情報の集約をした。④市公式ウェブサイト等を活用し、協働のまちづくりに関する情報発信を強化した。⑤子ども(小学6年生)向け用自治基本条例パンフレットを市内小学校に配布した。⑥地域デビューの促進を図るため、市公式ウェブサイトにおいて各種団体等の情報を掲載するとともに、地域デビュー手引の周知に努めた。⑦市民の地域活動を支援するため、軽トラック・マイク、スピーカーを購入し、貸し出し用として配備した。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民協働のまちづくりウェブサイト更新回数	55	47	70	70	70	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	市民との協働事業数		159	161	—	—	—	事業
	目標達成率(実績/目標)			107.3	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり				

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	500	0	0	4,000	1,196	5,696
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	500	0	0	4,000	1,196	5,696
		決算額	500	0	0	3,142	1,362	5,004
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
1.2	0.3		9,428	14,432				

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	3,148	5,004	3,355	3,355	3,355
	うち一般財源	926	1,362	855	855	855
	人件費	9,173	9,428	9,428	9,428	9,428
	総事業費	12,321	14,432	12,783	12,783	12,783

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		広報やウェブサイト、Facebookによる情報発信を行い、情報や周知をひろく行えた。
	効率性	A:効率的だった		事業の効率性の観点から、特に問題はなかった。
②成果に対する評価	指標名	市民との協働事業数		目標を超える協働事業数を達成できた。
	目標	150	事業	
	実績	161	事業	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		協働事業数は目標を超えたが、自治基本条例の理念を十分浸透させる余地はまだあることから、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	自治基本条例の理念の浸透を図るため、引き続き周知・啓発を行うとともに、職員研修の充実を図るなど職員の意識改革が必要である。 「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」については、より地域の課題解決につながるよう制度の見直しも含め検討していく。 町内会未加入の方々に、地域の活動等に興味を持ってもらえるような周知方法を検討していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	①市民協働推進本部会議等を開催することにより、協働のまちづくりが拡充していくための環境整備に努める。②「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」については、第九・文化・観光をテーマにした「行政提案型部門」を設定し、まちづくり活動に団体が主体的に取り組めるよう活動促進と経済的自立に向けた支援を行う。③まちづくり活動に関し市公式ウェブサイトの「市民協働のまちづくり」コーナー、「うずしおくん・うずひめちゃんのFacebook」や「市民協働のまちづくりFacebook」を活用し、積極的に情報を発信する。④町内会未加入の方々に、市ウェブサイトにて地域活動の周知を行ったり、イベント等で「町内会加入促進ちらし」を配布し、町内会加入や地域活動への参加を促進していく。			
	H31年度	H30年度と同様			